

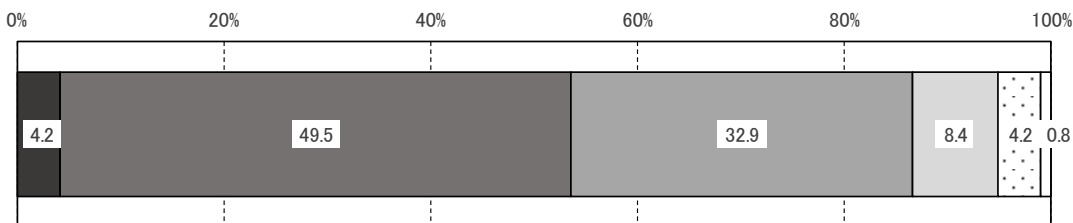
## 問2 暮らしの満足度

問2 あなたは、現在の暮らし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（1つだけ）

全体（図2-1）で見ると、「おおむね満足している」が49.5%と最も高く、次いで「まだまだ不満だ」（32.9%）、「きわめて不満だ」（8.4%）の順となっている。

図2-1 暮らしの満足度

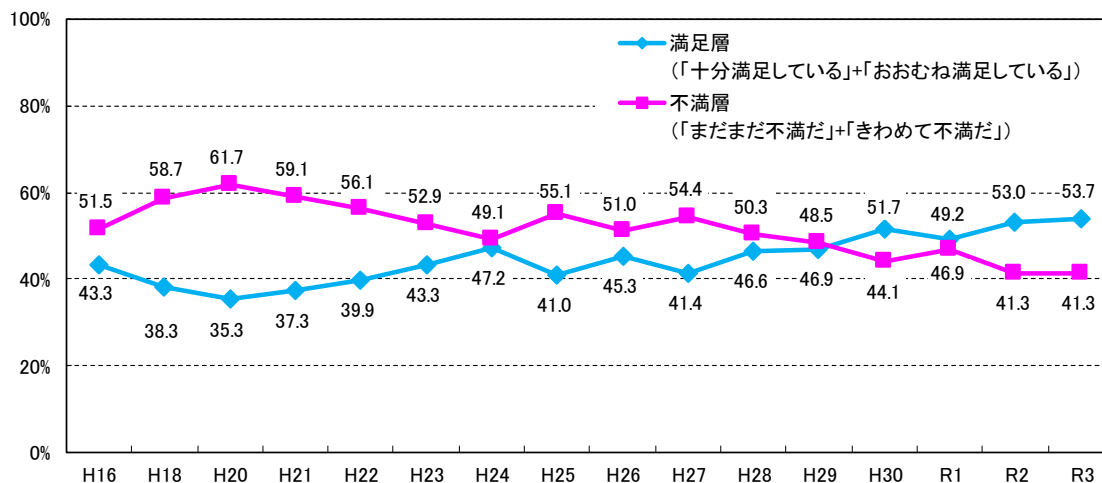
回答者数(n = 1,553)



- 十分満足している
- おおむね満足している
- まだまだ不満だ
- きわめて不満だ
- わからない
- 無回答

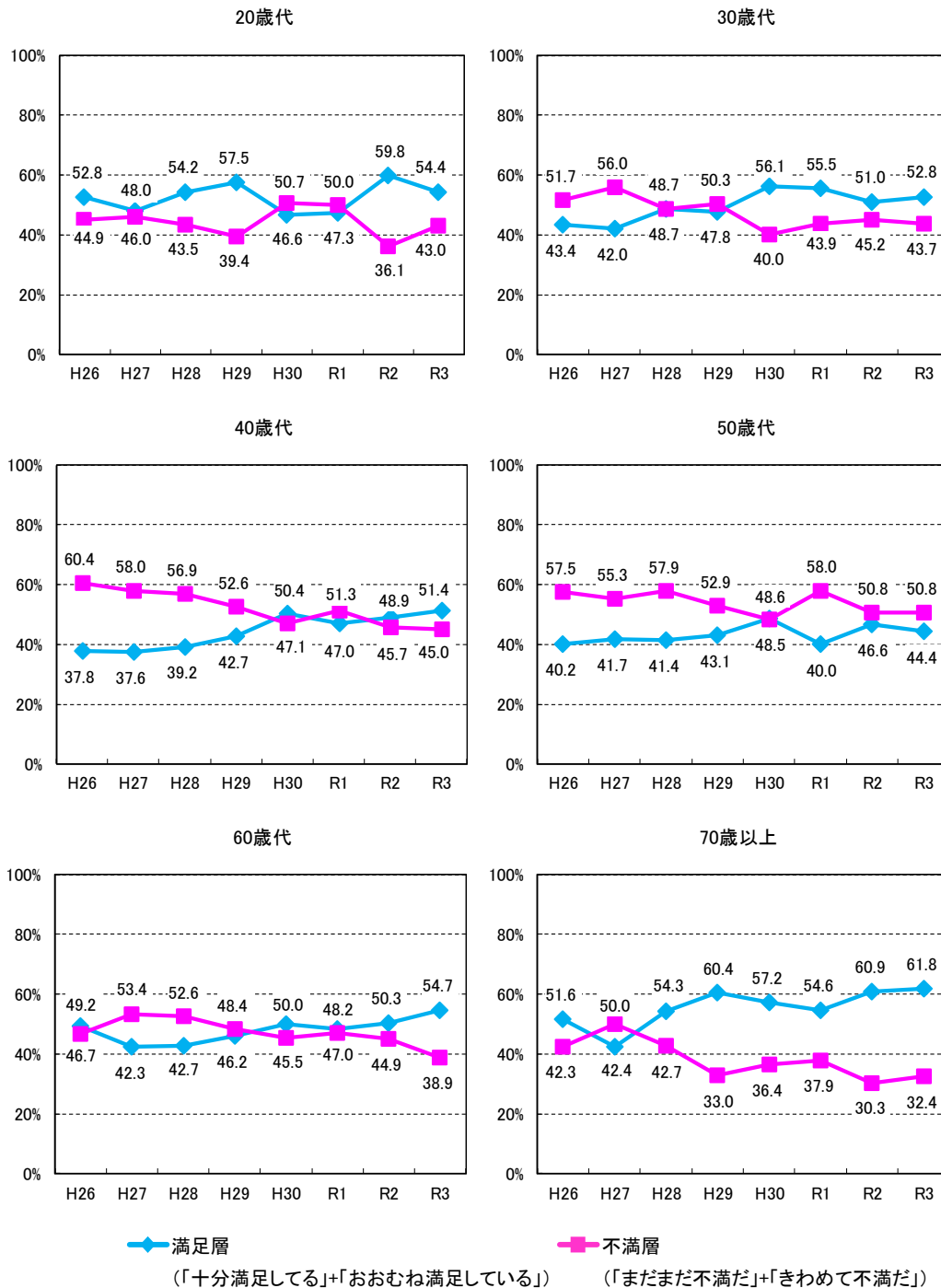
経年変化（図2-2）で見ると、平成16年から「不満層」（「まだまだ不満だ」+「きわめて不満だ」）が「満足層」（「十分満足している」+「おおむね満足している」）を上回っていたが、平成30年には「満足層」が「不満層」を上回った。令和3年は、前年に比べて「満足層」が0.7ポイント増加している。

図2-2 【経年変化】暮らしの満足度



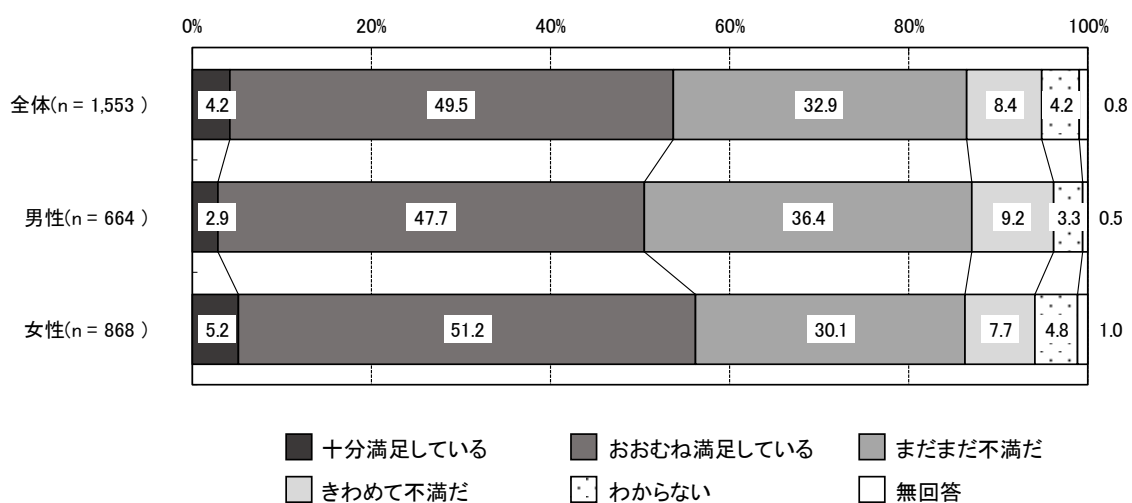
年代別の経年変化（図 2-3）でみると、令和 3 年は 20 歳代、50 歳代を除くいずれの年代においても「満足層」が増加している。50 歳代では変わらず「不満層」が「満足層」を上回っている。

図 2-3 【経年変化(年代別)】 暮らしの満足度



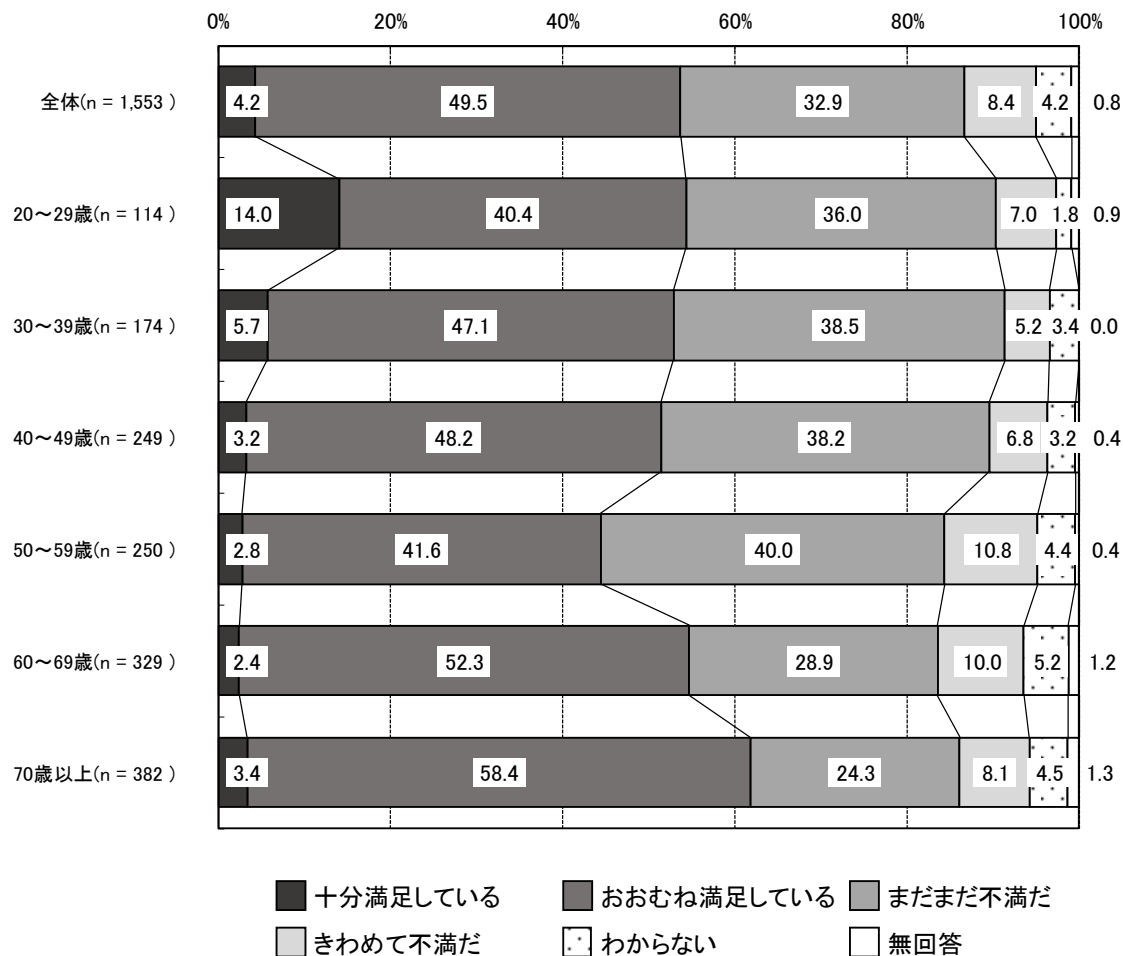
性別(図2-4)でみると、男女ともに「おおむね満足している」が最も高く、男性が47.7%、女性が51.2%となっている。

図2-4【性別】くらしの満足度



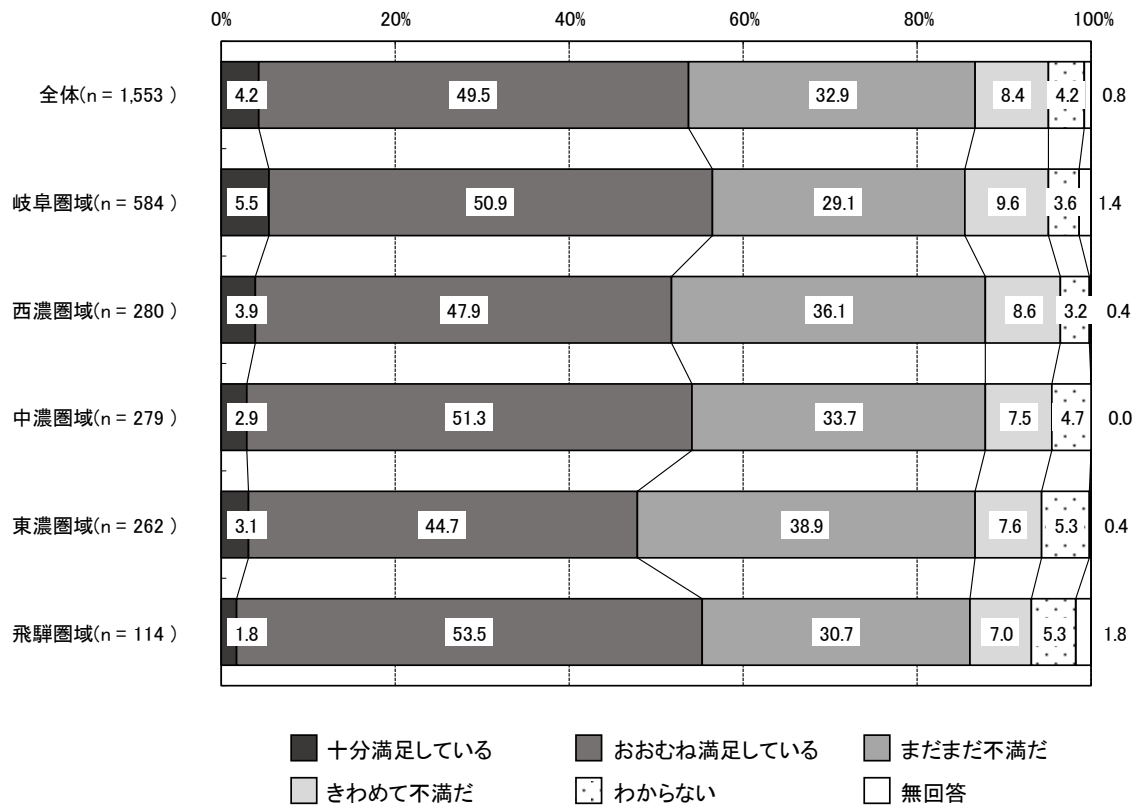
年代別(図2-5)でみると、いずれの年代においても「おおむね満足している」が最も高くなっている。

図2-5【年代別】くらしの満足度



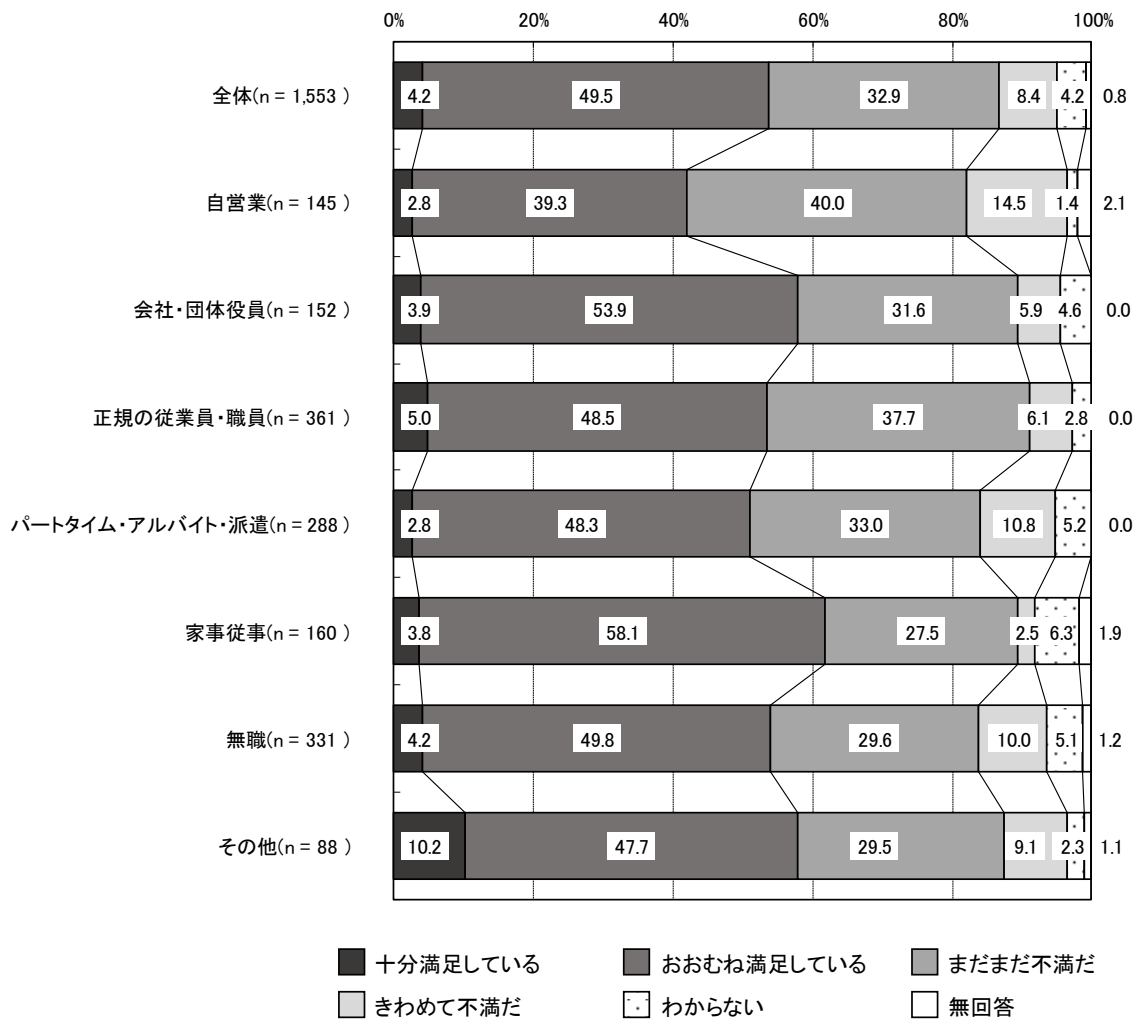
居住圏域別（図 2-6）で見ると、いずれの圏域においても「おおむね満足している」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 53.5%と最も高くなっている。

図 2-6 【居住圏域別】 暮らしの満足度



職業別（図 2-7）で見ると、自営業を除くいずれの職業においても「おおむね満足している」が最も高く、自営業では「まだまだ不満だ」が最も高くなっている。

図 2-7 【職業別】くらしの満足度



※ その他には、自由業、学生を含む。